

財政指標から見る財政状況

国は自治体の財政破たんを未然に防ぐため、「健全化判断比率」という指標を用いて、財政状況を明らかにしています。この「健全化判断比率」は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標からなります。白糠町の数値は、いずれも国が定める基準（早期健全化基準『イエローカード』、財政再生基準『レッドカード』）を下回っています。

実質赤字比率

福祉、教育、まちづくりなどを行う町の一般会計などの赤字の程度を指標化したものです。この比率が高いほど、財政状況が厳しいこととなります。

赤字額なし（前年度：赤字額なし）
早期健全化基準15.00%、財政再生基準20.00%

連結実質赤字比率

一般会計などのほか、水道、下水道などの公営企業会計を含めた町の全会計での赤字の割合を指標化したものです。この比率が高いほど、財政状況が厳しいこととなります。

赤字額なし（前年度：赤字額なし）
早期健全化基準20.00%、財政再生基準30.00%

資金不足比率

資金不足比率とは、各公営企業の資金不足（赤字額）が事業規模と比較してどれくらいの割合かを示すものです。国が定める経営健全化基準20.0%以上となると、経営健全化に取り組まなければなりません。

対象となる会計は、水道事業会計、簡易水道及び飲用水道供給事業（特別会計）、公共下水道事業（特別会計）の3つです。資金不足はありませんでした。

実質公債費比率

町債（借金）などの返済額の大きさを指標化したものです。この比率が高いほど、財政状況が厳しいこととなります。

8.7%（前年度：8.4%）
早期健全化基準25.0%、財政再生基準35.0%

将来負担比率

今後町が支払うこととなる負担など、将来の財政を圧迫する可能性の割合を示します。この比率が高いほど、今後の財政状況に問題が生じる可能性が高いこととなります。

算定なし（前年度：算定なし）
早期健全化基準350.0%

赤字額なし（前年度：赤字額なし）
経営健全化基準20.0%

特別会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	9億3,990万4千円	9億3,340万8千円	649万6千円
簡易水道及び飲用水道供給事業	6,350万5千円	5,486万7千円	863万8千円
公共下水道事業	7億9,673万5千円	7億8,604万3千円	1,069万2千円
介護保険	9億9,188万6千円	9億7,701万2千円	1,487万4千円
後期高齢者医療	1億3,628万9千円	1億3,617万円	11万9千円
合計	29億2,831万9千円	28億8,750万円	4,081万9千円

特別会計の決算は、歳入総額2億2,831万9千円、歳出総額2億8,750万円になりました。歳入歳出の差引額は4,081万9千円で黒字となりました。

特別会計

水道事業会計区分	歳入	歳出	差引額
収益的収入および支出（税抜）	2億2,155万4千円	1億9,718万1千円	2,437万3千円
資本的収入および支出（税込）	499万4千円	1億800万6千円	△1億301万2千円

「収益的収入および支出」では、2,437万3千円の利益を計上し、全額を減債積立金へ積み立てました。「資本的収入および支出」の不足額1億3,012千円は、消費税資本的収支調整額、減債積立金、過年度分損益勘定留保資金などに当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

水道事業会計

基金(貯金)と町債(借金)

令和2年度末の基金は、1,000億2,960万3千円です。令和元年度から30億5,586万円の増額となりました。町民一人当たりでは、およそ134万円になります。一方、町債は132億5,940万5千円で、令和元年度から7億9,006万7千円の増額となりました。町民一人当たりでは、およそ177万2千円になります。

※基金と町債には特別会計、水道事業会計は含んでいません。

※町民一人当たりの金額は、令和3年3月31日現在の人口74,817人で算出しています。

決算のまとめ

町の財政状況は現在のところ健全といえます。しかし、先の見えない景気の動向や人口の減少による税収の減など、今後の財政運営は楽観できません。

限られた財源で最大の行政効果が得られるよう、効率的な財政運営に努めていきますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

決算など財政に関する問い合わせは、企画財政課 財政係 ☎212171（内線320）まで。



「元氣!!しらぬか応援券(第1~3弾)」を全町民に配布し、新型コロナウイルスに対する地域経済の活性化を図りました。



「西庶路寿の家」を改築し、地域コミュニティ活動の充実と活性化を図りました。



「『太陽の手』子育て支援」として、出産祝い金の支給や保育料の無料化、18歳までの医療費の無料化などを行いました。



温水プールやスポーツ広場の改修など、公共施設の適正な管理に努めました。



就農者の受け入れや未整備森林の環境整備、白糠漁港の整備など、第一次産業の再興と振興を図りました。



戸別受信機の整備や消防庁舎の建設、栄橋通り等避難路の整備など、防災、減災のまちづくりに取り組みました。

令和2年度の主な事業